

第11回葛飾区公共施設見直し検討委員会次第

日時 平成17年8月23日(火)
場所 区役所7階
701・702会議室

- 1 開会あいさつ
- 2 第11回進め方
- 3 報告書修正点等説明
- 4 全体討議
- 5 答申
- 6 閉会のあいさつ
- 7 事務連絡

第11回 葛飾区公共施設見直し検討委員会（手持ち）

日時 平成17年8月23日（火）
場所 区役所701・702会議室

1. 開会あいさつ（5分） 《梶島会長よりあいさつ》 1:30~1:35

2. 第11回進め方 《事務局》 1:35~1:40

まず、事務局から、報告書の前回時点からの変更点について説明、その後、全体討議。
今日の議論については、最終報告書に盛り込む。最終版としてまとめる前に、みなさんに郵送し確認をさせていただく予定。
全体討議後、みなさんにお集まりいただいているので、区長が梶島会長から、本委員会の検討結果について答申を受ける。

3. 第10回委員会以後の修正点の説明（20分） 《事務局説明》 1:40~2:00

4. 全体討議（休憩含め120分） 2:00~4:00
全体討議を3時55分ころまでに終え、
私たちの検討結果について、区長に答申を行いたいと思いますので、区長さんをお呼びいただく間、少しお待ちください。

5. 区長へ答申（10分） 4:00~4:10
梶島会長から答申に際してコメント
区長へ答申
区長あいさつ

6. 閉会のあいさつ 《梶島会長より閉会挨拶》 4:10~4:20

7. 事務連絡 《事務局》
改めて、今後について 課長から
今後の予定であるが、9月には、本報告書を議会にお示しする。
その後、区としての実施プランを作成し、順次実施していく予定
口座振込みなど

閉会

私たち、公共施設見直し検討委員会では、昨年の7月から、今日まで、11回にわたり、検討を続けてまいりました。

委員会メンバーは、公募区民の方々や団体代表、学識経験者に区職員と様々な立場から積極的に、活発な意見交換がされました。

委員会における公共施設の見直し基本方針を定め、廃止や機能転換、配置数の見直し、管理運営形態の見直しなどの各施設群の方向性、また、集会施設の廃止基準などについても検討いたしました。そのうえで、施設ハードの検討だけでは越えることができない様々な課題、施設の利便性を高め、住民が地域の中でより豊かな時間をすごすためにはどうしたらいいのか、などを考え、地域コミュニティに関する考察をし、コミュニティ拠点施設の再編成、また、IT活用のメリットを活かした展開、建て替え時などのモデルプランへと検討を進めました。

わたくしたち、葛飾区公共施設見直し検討委員会での、この検討結果には、すぐさま区が実現のために取り組んでいただける課題と、その実現には、時間をかけ、じっくりと様々な条件を整えていくべきものがあると認識しています。

すぐに実現できるものについては、計画を定め、順次取り組んでいただくとともに、少し長いスパンで条件を整備しなければならない課題についても、着実に確実に歩みを進めていただけるよう、お願いをいたします。

私たちのこの検討結果を、葛飾区の施設の有効活用や豊かなコミュニティの醸成につなげていただきたいと希望しております。また、検討結果のみならず、この検討委員会を通して生まれた区民と行政との間に生まれ理解や関係も、今後の葛飾区政の運営にとって、意義ある種となって欲しいと願っております。委員を代表いたしまして、答申に際し、ひとこと、希望を述べさせていただきました。

それでは、私たち葛飾区公共施設見直し検討委員会の答申をさせていただきます。

(区長に手渡し)